

## 2. 最新の民間天気予報事情

### ～北海道は天気予報の激戦地～

財団法人日本気象協会北海道支社 賀 久 正 則

#### 1. はじめに

テレビではここ10年の間で一般的なテロップ表示の天気予報から時系列のポイント予報へと予報内容も定着し、天気分布図の時間変化や降雨時のレーダーアメダス分布図もコンピューターグラフィックスなどで分かりやすく表示されるようになりました。また、北海道の約17kmメッシュ毎に展開されている約210ヶ所のアメダス地点の観測値から、コンピューターで計算された格子間隔20kmの数値予報を利用して、インターネットや携帯電話でその地域の時系列予報として細かく予報されたりしています。また、従来通りの気象台が発表する天気予報もNTTの177電話サービスで利用されるなど天気予報の提供内容も多様化、高度化してきました。特に北海道は、農作物や養殖漁等の作業管理などで農業や漁業などの一次産業の比率が高く、これに観光などのサービス業を加えると天気予報の関心は更に高い地域となっています。そこで、今回はマスメディアを中心とした、民間気象事業者の現状を紹介します。



#### 2. 天気予報の現状

##### 2-1 気象台と民間気象事業者

気象庁では、天気予報等の社会経済活動に必要な気象情報の提供の範囲は、注意報や警報など公的な責任として必要なものに限定し、民間気象事業者に対する規制（気象予報業務の許可、気象予報士の業務独占、気象測器の検定等）については、規制緩和を進めています。そこで、平成5年5月に気象業務法の一部が改正され、気象予報士制度が導入され、気象庁発表の予報のテレビ等における解説業務の自由化と一般向け天気予報（局地）等見直しが行われて、いわゆる天気予報の一部自由化が始まりました。

##### 2-2 民間気象事業者の現状

気象庁から提供される数値予報資料等から、民間気象事業者は以下のような事業を展開しています。

###### ① テレビなどのマスメディアを通じたて分かりやすい情報の提供

CGを用いたテレビの天気番組作成、新聞やラジオ向けの気象情報の編集・加工、気象予報士による解説等を行い、紫外線情報やペット夏ばて予報などの生活に関連する利

便性の高い情報の提供を行っています。

② 個別情報の提供

北海道では主に農業経営の営農の基礎となる牧草や小麦の刈り取り、防除など具体な目的に応じた気象情報提供、鉄道関係や開発局の河川やダム、港湾、道路の管理等と、市町村の防災に必要な気象情報を利用したコンサルタント業務等を行っています。

③ 新しい情報メディアによる気象情報の提供

CATV、衛星放送、インターネット、携帯電話などを活用した、一般の天気予報の他に付加価値情報も加えてきめの細かな気象情報の提供を行っています。

④ 北海道の民間気象事業者

全国には自治体や個人、財団法人を含め42の事業者があり、北海道には全国的な組織である（財）日本気象協会、（株）ウェザーニューズと、道内に拠点を置く北海道放送（株）、札幌総合情報センター（株）と申請中の放送局1社が主とされており、テレビ等でその気象事業者の提供される情報を目にしています。



大手ペットフードメーカー「Pedigree」、HP([www.pedigree-otenki.jp](http://www.pedigree-otenki.jp))より

### 2-3 道内のマスメディアにおける天気予報の現状

近年、民間気象事業者がマスメディアを通じて発表する予報は、独自の観測網や解析技術を駆使して局地予報の予測精度の向上を目指し、天気ばかりではなく生活気象情報を附加した細かな情報提供をメディアにおいても以下のように図られています。

① テレビ局（地上波）

道内のテレビ局は、地上波でNHKと民間放送局6局があり、気象情報を放送していますが、現在は先の4社の民間気象事業者がそれぞれのテレビ局で気象情報を発信しています。近年は、気象台発表の予報一辺倒だったものが、花粉情報や洗濯指数など

の生活気象情報型のコンテンツを提供したり、他局との差別化を図って独自予報を発表する局も3年前から出始め、視聴者は気象情報に関しての選択肢の広がりを見せ始めています。

#### ②ラジオ局

道内のラジオ局は、AM局ではNHKラジオ第一放送、STVラジオ、北海道放送（HBC）3局とAIR-G、NORTH WAVE、NHKFMとFM局3局、FMイルカやFMおたるなどの地域FM局18局があり、気象台の発表する気象情報を放送するのが一般的でしたが、AM局と大手FM局、地域FM局6局は民間気象事業者と契約した独自予報や気象予報士の解説する天気コーナーを交えて放送しています。特にミニFM局は、大雨や地震等の災害時などは情報を逐次民間気象事業者から提供されて地域密着型の放送を目指しています。

#### ③新聞社（スポーツ紙除く）

大手3紙（読売、毎日、朝日）と日経、道新の5紙に、地方紙数紙（十勝毎日、函館新聞、室蘭民報、苫小牧民報）では、民間気象事業者と契約した独自予報や気象予報士の気象解説を記載しており、短期予報と週間予報を載せて、独自性が図られています。

### 3. その他インターネットや携帯電話の利用

近年は携帯電話の普及で、固定電話での177テレホンサービスのアクセス数が減少しています。携帯電話での最大の特徴は様々な情報をリアルタイムに場所を選ばず簡単に入手することで、気象情報の利用の多様化に弾みをつけています。

特に、農家は小麦の収穫や牧草の刈り取りなどに気象情報をシビアに利用しており、一般的な予報よりも作物毎に、生育ステージ毎に特化した予報を求めています。各JAは民間気象事業者と提携して、雨の状況やその地域の気象予測を立ち上げられた専用のサイトと携帯電話を利用して作業している畑で気象情報を収集し、今後の作業をその場で決定したり、家ではパソコンで営農支援情報を専用のWeb情報としてインターネットで検討したりしています。

また、北海道のように広い地域の道路や河川を管理する機関も、大雨や大雪などの専用の予報を民間気象業者と契約し、予測情報ばかりでなく、テレメーターデータや警報、情報までもWebや携帯電話で入手し、通常の管理や異常時の交通規制や復旧に備えています。最近の異常気象の多発も反映して、付加情報に加えて予報そのものよりも精度を求める要望の比重が増しています。

**MICOS on Mobile**

(2) 台風  
(3) アメダス  
(4) マメダス  
(5) 気象情報  
(6) JWA 予報  
(7) メッシュ  
(8) 短期予報  
(9) 週間予報  
(10) 気象衛星画像  
(11) 天気図  
(12) 地震  
(13) 津波  
(14) 火山

日本気象協会

**[メッシュ] 石狩支庁 26日15時00分発表**

降水量実況

凡例  
▼降水量  
実況  
1時間後 2時間後  
3時間後 4時間後  
5時間後 6時間後

▼気温  
実況  
▼雨雪判別  
実況  
1時間後 2時間後  
3時間後

9:15  
0 ニューヘ戻る

**[天気図] 26日12時の実況**

24時間予想  
48時間予想  
72時間予想

0 ニューヘ戻る

**[アメダス]**

26日15時  
雨量 0.0mm  
気温 19.5°C  
風向 西  
風速 3m/s  
日照 0min  
積雪 -cm  
積算雨量  
3h -mm  
6h -mm  
12h -mm  
24h -mm  
9:15  
0 ニューヘ戻る

JWA 提供 i-mode 気象情報 (JA 農業契約サイト)

#### 4. おわりに

何気なく見ているテレビや新聞で伝えられている気象情報でも、テレビ局毎や新聞社毎に気温や天気に差があることに気が付き始めたと思います。メディアを通じて伝えられる気象情報も精度が追求され、気象情報に関する提供会社も淘汰される時代が目の前にきています。朝見るテレビの天気予報で、きれいなお姉さんの伝える生活に密着した親切な気象情報も、当たる予報でなければお姉さん目当てにみる視聴者しかチャンネルを合わせないことになります。

道内のテレビ局では、気象予報士を持つ天気キャスターの予報の適中率を発表している局があります。視聴者に積極的に予報の精度も公開し、予報を利用する側のひとつの選択肢として意味のあること思われます。予報の垂れ流しはもう過去のものです。気象台では週間予報の信頼度を3つのランクで表現し、利用者に予報の適中率をランクで伝えていました。しかし、将来の予報の信頼性よりも、過去の適中率を公開して更に予報の信頼度を表現したほうが利用者に納得してもらえます。間もなくやってくるテレビやラジオのデジタル化により、気象のコンテンツは更に増えていき、その中心は防災情報という声も聞かれますが、皆さんはこれらメディアが伝える気象情報についてどう思われるでしょう。